

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

準備

録音

再生

消去する

編集する

メニューについて

パソコンを活用する

その他

困ったときは

索引

警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わない
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



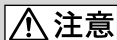
危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

目次

安全のために.....	2
警告表示の意味.....	2
⚠ 警告	3
準備	
箱の中身を確認する.....	7
各部のなまえ.....	8
表示窓について.....	10
誤操作を防止する(ホールド).....	15
電源を入れる.....	16
電池を入れる.....	16
電源を入れる.....	16
電源を切る.....	16
時計を合わせる.....	17
電池を入れてすぐに時計を 合わせる.....	17
メニューを使って時計を 合わせる.....	17
フォルダ、ファイル、タブを選ぶ.....	19
フォルダとファイルを選ぶ.....	19
タブを選ぶ.....	20

録音

録音を始める.....	21
録音中の音をモニターする.....	22
録音を止める.....	22
その他の操作.....	23
録音の設定を変える.....	24
用途に合わせた録音シーンを選ぶ.....	24
シーンセレクトの設定項目を お好みに編集する.....	25
シーンセレクトの設定項目を 初期値に戻す.....	25
音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音.....	27
接続して録音する.....	28
外部マイクをつないで録音する.....	28
他の機器の音声を録音する.....	29

再生

再生を始める.....	31
再生を止める.....	31
その他の操作.....	31
ファイル再生時の画面表示 について.....	32

再生の設定を変える.....	33
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする	
ーノイズカット機能.....	33
再生速度を調節する	
ーDPC (Digital Pitch Control).....	34
音質を切り換える.....	34
再生モードを変える.....	36
より便利な再生方法.....	37
高音質で再生する.....	37
再生中に早送り／早戻しする	
ーキュー／レビュー.....	37
聞きたいところをすばやく探す	
ーイージーサーチ機能.....	38
カレンダーから録音した日付を選んで再生する.....	39
希望の時刻に再生を始める	
ーアラーム再生.....	41
接続して再生する.....	43
本機の音声を他の機器で録音する.....	43
消去する	
ファイルを消去する.....	44
フォルダの中身を一度に消去する.....	45

編集する

フォルダ内のファイルを整理する.....	46
ファイルを別のフォルダに移動する.....	46
トラックマークを使う.....	47
トラックマークを付ける.....	47
トラックマークを消去する.....	47
すべてのトラックマークを消去する.....	48
ファイルを分割する.....	50
現在位置で分割する.....	50
すべてのトラックマーク位置で分割する.....	51
名前を変更する.....	52
フォルダの名前を変更する.....	52
ファイル名を変更する.....	53
ファイルを保護する.....	54

メニューについて

メニューの使いかた.....	55
メニュー一覧.....	56

パソコンを活用する

パソコンにつないで使う	66
本機をパソコンに接続する	66
フォルダとファイルの構成	67
本機をパソコンから取りはずす	69
ファイルを本機からパソコンに コピーして保存する	71
音楽ファイルをパソコンから 本機にコピーして再生する	72
パソコンにある音楽ファイルを 本機にドラッグアンドドロップして コピーする	72
コピーした音楽ファイルを本機で 再生する	72
USBメモリーとして利用する	74

その他

USB ACアダプターにつないで使う	75
本機を取りはずす	75
使用上のご注意	76
主な仕様	77
必要なシステム構成	77
本機の仕様	78
電池の持続時間	81

保証書とアフターサービス	82
保証書	82
アフターサービス	82

困ったときは

故障かな?と思ったら	83
こんなときは(本機)	83
メッセージ表示一覧	88
システム上の制約	91
安全のために	92
⚠ 注意 電池についての安全上のご注意	92
著作権と商標について	96
索引	97

箱の中身を確認する

本体(1)

ステレオヘッドホン(1)

USB接続補助ケーブル(1)

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

ソニー単4形アルカリ乾電池(1)

取扱説明書 本書(1)

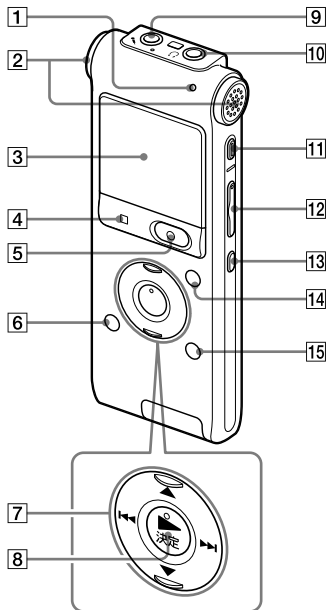
クイックスタートガイド(1)

保証書(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

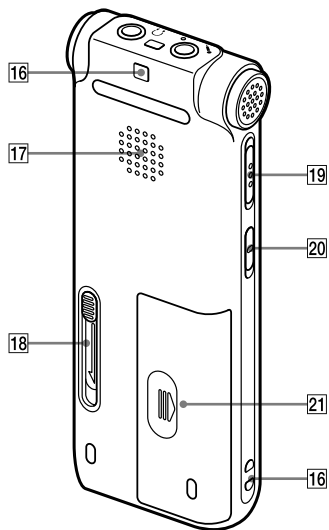
本体(表面)



- 1 録/再ランブ
- 2 内蔵マイク(ステレオ)
- 3 表示窓
- 4 ■ 停止ボタン
- 5 ● 録音/一時停止ボタン
- 6 𠂇(フォルダ)ボタン
- 7 コントロールボタン (▲、▼ /
◀◀ (早戻し)、▶▶ (早送り))
- 8 ▶ (再生) / 決定ボタン*
- 9 𠂇(マイク)ジャック*
- 10 Ω (ヘッドホン)ジャック
- 11 消去ボタン
- 12 音量- / +*ボタン
- 13 ↶ (リピート) A-Bボタン
- 14 トラックマークボタン
- 15 メニュー/ノイズカットボタン

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

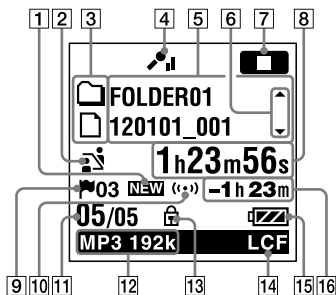
本体(裏面)



- 16 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
- 17 スピーカー
- 18 スライド式USB端子用つまみ
- 19 ホールド・電源スイッチ
- 20 DPC (速度調節)スイッチ
- 21 電池ぶた

表示窓について

停止時



❖ ご注意

「表示窓について」に記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。



- 1 ポッドキャスト新着情報
- 2 シーンセレクト設定表示
選択しているシーンが表示されます。
シーンが設定されているときにだけ表示されます。
🗨️: 会議
🗨️: ボイスメモ
🖋️: インタビュー
🗨️: おけいこ

🔊: オーディオ入力


🗨️: Myシーン

- 3 曲情報種別表示
📁: 録音可能フォルダ
📁: 再生専用フォルダ
📁: ポッドキャストフォルダ
🎵: タイトル
👤: アーティスト
📄: ファイル
- 4 録音時のマイクの感度が表示されます。
🔊: 高
🔊: 中
🔊: 低
- 5 曲情報表示
曲情報種別に合わせたそれぞれの名称
(フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名)が表示されます。
- 6 曲情報切り換え操作ガイド
▲または▼を押して、曲情報表示を順に切り換えることができます。
- 7 動作モード表示
本機の動作状態に応じて下記のように表示されます。
⏸️: 停止中
▶️: 再生中
📄: 録音中
⏸️: 録音一時停止中に点滅



VOR  録音：VOR録音中

VOR  **II**：VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音を「オン」にしているときに
● 録音／一時停止ボタンを押して録
音を一時停止すると  **II** だけが点
滅します。

SYNC 録音：シンクロ録音中


SYNC  **II**：シンクロ録音一時停止中に
点滅

 ：早戻し／早送り再生中

 ：連続ファイル戻し／送り

- 8** 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻
表示
- 9** トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示さ
れます。トラックマークが設定されてい
るときにだけ表示されます。
- 10** アラーム表示
ファイルにアラームが設定されていると
きに表示されます。
- 11** 位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ
内の総ファイル数が分母に表示されます。
- 12** 録音モード表示
停止中または録音中はメニューで設定さ
れている録音モードが、再生中はその
ファイルの録音モードが表示されます。

MP3 8k 、**MP3** 48k 、**MP3** 128k 

MP3 192k ：本機で録音、またはコピーさ
れたMP3ファイル
パソコンなどからコピーされたファイル
は、ファイル形式表示 (**MP3**) のみが表示さ
れます。

WMA：コピーされたWMAファイル

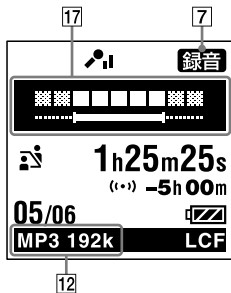
AAC：コピーされたAAC-LCファイル

録音モード情報を取得できないときは、
下記のように表示されます。

----：不明

- 13** 保護マーク
ファイルが保護設定されているとき表示
されます。
- 14** LCF表示
「LCF(Low Cut)」が「オン」に設定され
ているときに表示されます。
- 15** 電池マーク
- 16** 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

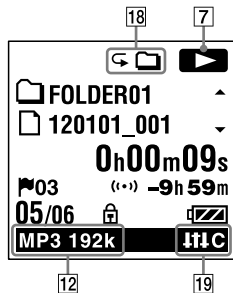
録音時



17 録音レベルガイド

録音時、録音音量の目安に、入力されている音量のレベルと最適音量域を表示します。

再生時



18 再生モード表示

- 1 : 1ファイル
- 📁 : フォルダ
- ALL : 全ファイル
- ↶ 1 : 1ファイルリピート
- ↶ 📁 : フォルダ内ファイルリピート
- ↶ ALL : 全ファイルリピート

19 ノイズカット/エフェクト表示

ノイズカット機能を有効に設定、または音質を切り換えているとき表示されます。

N-CUT : ノイズカット

LHP : ポップス

LHR : ロック

LHJ : ジャズ

BA1 : ベース1

BA2 : ベース2

LHC : カスタム

ホールド状態時

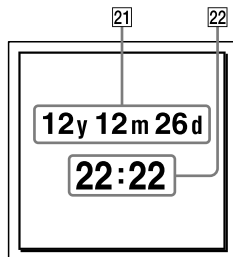


20 ホールド表示

誤操作防止(ホールド)状態になっているときに表示されます。すべてのボタン操作が無効になっています。

ホールドを解除するには、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします(15ページ)。

現在時刻表示時



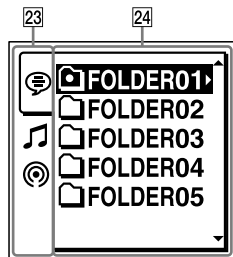
21 現在日付表示

停止中に■停止ボタンを押すと、3秒間、現在の年(y)月(m)日(d)が表示されます。
例: 12y12m26d (2012年12月26日)

22 現在時刻表示

停止中に■停止ボタンを押すと、3秒間、現在時刻が表示されます。メニューで、時刻表示形式(12時間、24時間)を切り換えることができます。
例: 22:22 (24時間表示) / 10:22 PM (12時間表示)

フォルダ選択時



23 タブ

録音可能エリア、再生専用エリアを表示します。

☎ (Voice) : 録音可能エリア。本機で録音したファイル进行管理します。

♪ (Music) : 再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイル进行管理します。

📻 (Podcast) : 再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャスト进行管理します。

24 フォルダ

選択したタブ内のフォルダが表示されます。

メニュー操作時



25 メニュータブ

以下のメニュータブを選択できます。

🎙 : 録音

▶ : 再生

✎ : 編集

📺 : 表示

⚙ : 本体設定

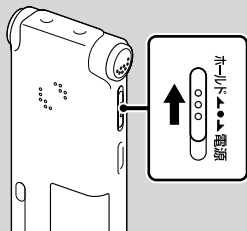
26 メニュー項目

選択したタブ内のメニューが表示されません。

誤操作を防止する(ホールド)

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

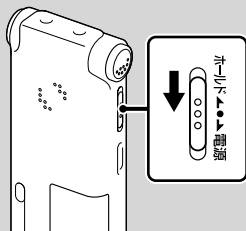
ボタン操作をできなくするには



電源が入っているときにボタン操作をできなくするには、ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。



ボタン操作をできるようにするには



ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします。

■ ご注意

録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

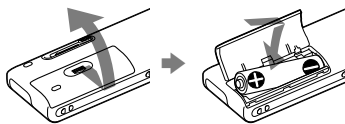
🔊 ホールド中でもアラーム再生は止められます

アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。(通常のファイル再生は停止できません。)

電源を入れる

電池を入れる

電池ふたを矢印の方向へずらして開け、単4形アルカリ乾電池(付属)、または単4形充電式電池(別売)を入れ、ふたを閉めます。



❗ ご注意

本機では充電できません。

電池を交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

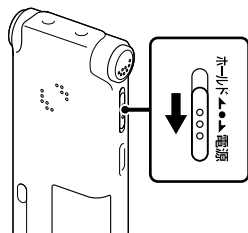
電池の残量表示

⚡: 「電池が残りわずかです」が表示されます。電池の交換時期が近づいています。



⚡: 「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

電源を入れる



画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され、電源が入ります。

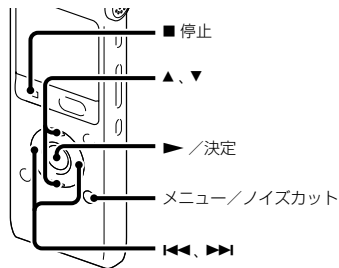
電源を切る

「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

💡 ヒント

停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)

時計を合わせる



アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。

電池を入れてすぐに時計を合わせる

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま1分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、年表示が点滅します。

1 年月日と時分を合わせる。

▲または▼を押して、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選び、► / 決定ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀ または ▶▶ を押すと、年、月、日、時、分を移動することができます。「分」の数字を選び、► / 決定ボタンを押すと、設定が時計に反映され、停止画面に戻ります。



メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

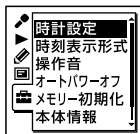
1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。

- ① メニュー / ノイズカットボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



- ② ◀◀ を押した後、▲または▼を押して ◀ タブを選び、► / 決定ボタンを押す。

- ③ ▲または▼を押して、「時計設定」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。



- 2 ▲または▼を押して「自動(対応ソフトと同期)」または「手動」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。



「自動(対応ソフトと同期)」を選んだ場合：本機をパソコンにつないで専用のアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。アプリケーションソフトSound Organizerについては、クイックスタートガイド(付属)をご覧ください。「手動」を選んだ場合は次の手順に進んでください。

- 3 ▲または▼を押して、「12y1m1d」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。



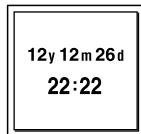
- 4 年月日と時分を合わせる。
▲または▼を押して、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選び、▶ / 決定ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
◀◀ または ▶▶ を押すと、年、月、日、時、分を移動することができます。「分」の数字を選び、▶ / 決定ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。
- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

■ ご注意

それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

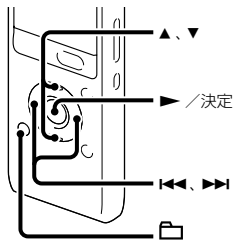
現在日時を表示するには

停止中に ■ 停止ボタンを押すと現在日時が約3秒間表示されます。




フォルダ、ファイル、タブを選ぶ

フォルダとファイルを選ぶ



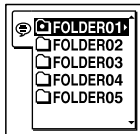
録音、再生、編集するファイル、フォルダを選ぶことができます。

- 1  (フォルダ) ボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。

- 2 フォルダを選ぶ。
▲または▼を押してフォルダを選び、
▶ / 決定ボタンを押します。

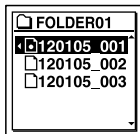
💡 ヒント

フォルダを選び、▶▶を押すと、選択したフォルダ内のファイルが表示されます。

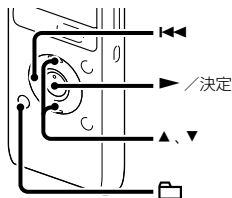


お買い上げ時には、FOLDER01～05の5個のフォルダが作成されています。

- 3 ファイルを選ぶ。
ファイル選択画面が表示されているときは、▲または▼を押して、ファイルを選び、▶ / 決定ボタンを押します。
停止画面が表示されているときは、◀◀または▶▶を押してファイルを切り換えることができます。













タブを選ぶ




本機で保存するフォルダは、録音可能エリアと再生専用エリアに分けて管理され、タブで表示されます。

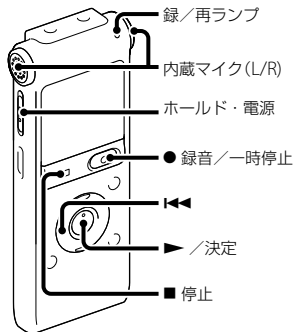
フォルダを選ぶときは、タブを切り換えることによりエリアを移動することができます。

- 1  (フォルダ) ボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。
- 2  を押した後、 または  を押して  タブ、 タブ、 タブのいずれかを選ぶ。
お買い上げ時には、 タブのみ表示されます。 タブ、 タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます(72ページ)。



- 3  / 決定ボタンを押す。
選択したタブ内のフォルダ選択画面が表示されます。
- 4 フォルダ、ファイルを選ぶ(19ページ)。

録音を始める



ここでは、基本的な録音操作の手順について説明します。設定したマイク感度と録音モードで録音を行います。

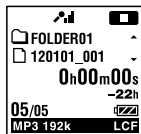
■ご注意

録音中、本機に手などがあつたり、こすつたりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

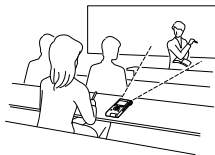
🔊ヒント

録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター (22ページ) をしながら録音することをおすすめします。

- 1 ホールド・電源スイッチを「電源」の位置にスライドして電源を入れる (16ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する (15ページ)。停止画面が表示されます。



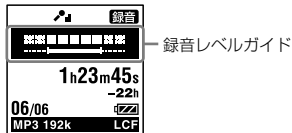
- 2 録音したいフォルダを選ぶ (19ページ)。
- 3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



- 4 停止中に ● 録音/一時停止ボタンを押す。

録／再ランプが赤く点灯します。

● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずつと押し続ける必要はありません。新しいファイルは自動的にフォルダの最終ファイルとして録音されます。



録音レベルガイドについて

録音中は、録音レベルガイドが表示されます。上段に録音中の入力レベルが表示されます。下段の白いバーは、入力レベルの適正範囲を表示します。

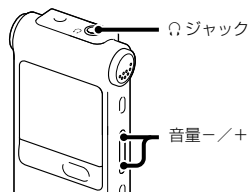


上の図のように、録音中の入力レベルが、下段の白い部分に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シーンセレクトの設定を変更してください。

💡 ヒント

入力レベルの白く表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音中の音をモニターする



付属のステレオヘッドホンをヘッドホンジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。

ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量 - / + ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

録音を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。

アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたり、USB ACアダプター（別売）を抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する* ● 録音／一時停止ボタンを押す。
録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、**●** (録音一時停止) 表示が点滅します。

録音一時停止を解除する もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。)

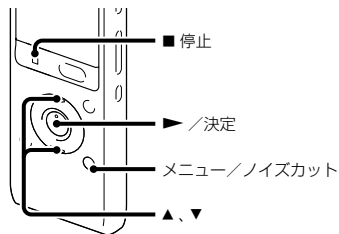
今録音したばかりのファイルを聞く ▶ / 決定ボタンを押す。
録音解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。

早戻し(レビュー)再生する 録音中または録音一時停止中に ◀◀ を長押しする。
録音解除され、今録音したところが早戻し(レビュー)再生されます。◀◀ を離すと、離れたところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ



さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード(58ページ)やマイク感度(59ページ)などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。それぞれのシーンの設定は、お好みに合わせて編集することができます。

- 1 停止中にメニュー→タブ→「シーンセレクト」を選び、決定ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、お好みのシーンを選び、決定ボタンを押す。

- 3 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

(会議)	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
(ボイスメモ)	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
(インタビュー)	1～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
(おけいこ)	広い音声帯域で收音します。教室での講座や、合唱の練習を録音するときに適しています。
(オーディオ入力)	テレビ、ポータブルCD / MDプレーヤー、テープレコーダーなど、他機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)と本機をオーディオコードで接続してダビングするときの設定です。
(Myシーン)	お好みのセッティングを保存しておくためにご利用ください。

シーンセレクトの設定項目をお好みに編集する

- 1 停止中にメニュー → ●タブ → 「シーン編集」を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。









- 2 ▲または▼を押して、編集したいシーンを選び、▶ / 決定ボタンを押す。
- 3 ▲または▼を押して、「編集」または「現在の設定値から編集」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
- 4 ▲または▼を押して、変更したい項目を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
- 5 ▲または▼を押して、設定値を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。
それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは58～60ページをご覧ください。
- 6 ▲または▼を押して、「編集完了」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
- 7 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。







シーンセレクトの設定項目を初期値に戻す

- 1 停止中にメニュー → ●タブ → 「シーン編集」を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。
- 2 ▲または▼を押して、初期値に戻したいシーンを選び、▶ / 決定ボタンを押す。
- 3 ▲または▼を押して、「初期設定に戻す」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
「設定を初期値に戻しますか？」と表示されます。
- 4 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
選択したシーンの設定項目がお買い上げ時の状態に設定されます。
- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

お買い上げ時の設定項目

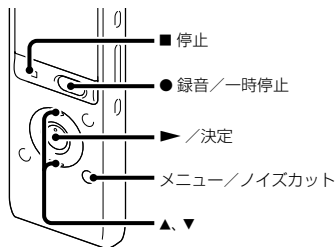
それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは58～60ページをご覧ください。

	 (会議)	 (ボイスメモ)	 (インタビュー)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 128kbps	MP3 192kbps
マイク感度	中 	低 	中 
LCF(Low Cut)	オン	オン	オン
VOR	オフ	オフ	オフ
シンクロ録音	オフ	オフ	オフ
外部入力選択	MIC IN	MIC IN	MIC IN

	 (おけいこ)	 (オーディオ入力)	 (Myシーン)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps
マイク感度	中 	低 	中 
LCF(Low Cut)	オフ	オフ	オフ
VOR	オフ	オフ	オフ
シンクロ録音	オフ	オン	オフ
外部入力選択	MIC IN	AUDIO IN	MIC IN

音がしたとき自動録音する

— VOR (Voice Operated Recording) 録音



ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時的に停止するように、メニューで設定することができます。

- 1 メニュー → タブ → 「VOR」を選び、
▶ /決定ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、
▶ /決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

- 4 ● 録音/一時停止ボタンを押す。
VOR が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VOR (録音一時停止) が点滅し、VOR録音が一時的に停止状態になります。VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

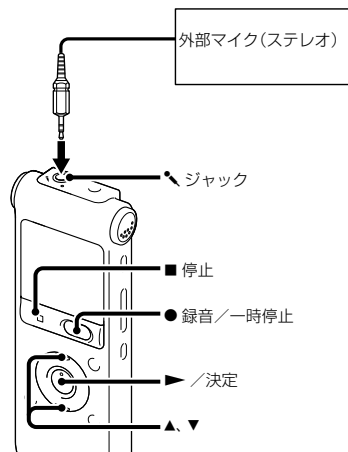
VOR録音を解除するには
手順2で「VOR」を「オフ」にします。


■ ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- シンクロ録音中(29ページ)はVOR機能は働きません。

接続して録音する

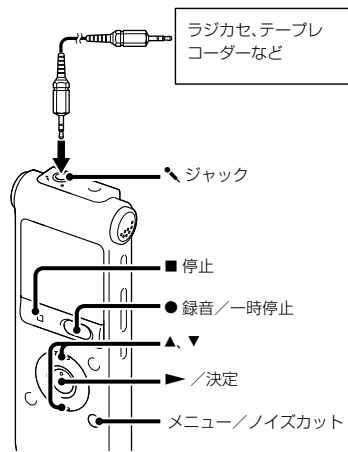
外部マイクをつないで録音する



- 1 停止中に外部マイクを  ジャックにつなぐ。
画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください(60ページ)。

- 2 ▲ または ▼ を押して、「MIC IN」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
 - 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。
 - 4 ● 録音 / 一時停止ボタンを押す。
内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。
- 電話機や携帯電話の音声を録音する**
別売のECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。接続方法などについて詳しくは、ECM-TL3の取扱説明書をご覧ください。

他の機器の音声を録音する



ラジカセ、テープレコーダーなど、他の機器の音声/音楽を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

メニューの「シーンセレクト」で「オーディオ入力」を選びと、他の機器の音声を録音するのに適した録音設定になります。設定方法は、24ページをご覧ください。

ヒント

入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使って本機と接続し、本機の録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。


シンクロ録音機能を使って録音する

2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を検知したところから新しいファイルとして録音します。


- 1 メニュー → タブ → 「シンクロ録音」を選び、▶ /決定ボタンを押して決定する。





- 2 ▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ /決定ボタンを押す。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

- 4 停止中に他の機器を本機につなぐ。他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を別売のソニー製オーディオコード(43ページ)を使って、本機の  ジャックにつなぎます。画面に「外部入力選択」が表示されます。「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください(60ページ)。

- 5 ▲または▼を押して、「Audio IN」を選び、▶/決定ボタンを押す。

- 6 ● 録音/一時停止ボタンを押す。**SYNC  II** が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

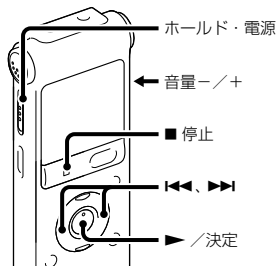
- 7 つないだ機器で再生を始める。**SYNC 録音 ** が表示され、シンクロ録音が開始されます。2秒以上無音の部分が続くと、「分割中」の表示が出たあと、**SYNC ** が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を感じしたところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

シンクロ録音機能を使わずに録音するには

「シンクロ録音機能を使って録音する」の手順2で「オフ」を選び、手順3～7に従ってつないだ機器から録音を行います。

手順6で、● 録音/一時停止ボタンを押すと、内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声録音されます。

再生を始める



- 1 ホールド・電源スイッチを「電源」の位置にスライドして電源を入れる(16ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(15ページ)。停止画面が表示されます。
- 2 再生したいファイルを選ぶ(19ページ)。ファイルを選ばない場合は、録音したばかりのファイルが再生されます。
- 3 ▶ / 決定ボタンを押す。再生が始まり、録 / 再ランプが緑に点灯します。
- 4 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

- 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する ▶ / 決定ボタンを押す。もう一度 ▶ / 決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの頭に戻る ◀◀ を短く1回押す。*1*2

前のファイル、さらに前のファイルに戻る ◀◀ を短く何回か押す。(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*3)

次のファイルに進む ▶▶ を短く1回押す。*1*2

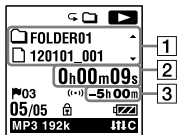
さらに次のファイルに進む ▶▶ を短く何回か押す。(停止中は押したままにすると、連続して進みます。*3)

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます(47ページ)。

*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です(38ページ)。

*3 トラックマークには止まりません。

ファイル再生時の画面表示について



1 ファイル情報表示

▲または▼を押して再生中のファイル情報を確認することができます。

本機で録音されたファイルは、下記のように表示されます。



📁 : フォルダ名を表示 : FOLDER01 ~
FOLDER05

📄 : ファイル名を表示 : 年月日_番号
(例 : 120101_001)



👤 : アーティスト名を表示 : My Recording

🎵 : タイトル名を表示 : 年月日_番号
(例 : 120101_001)

2 カウンタ情報表示

メニューでお好みの表示モードを選ぶことができます(63ページ)。

経過時間 : 1ファイルの経過時間

残り時間 : 1ファイルの残り時間

録音日付 : 録音した日付

録音時刻 : 録音した時刻

3 録音可能時間表示

録音可能時間を時間、分、秒で表示します。

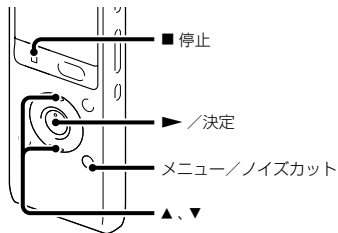
10時間以上の場合 : 時間

10分以上、10時間未満の場合 : 時間と分

10分未満の場合 : 分と秒

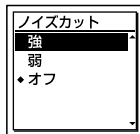
再生の設定を変える

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — ノイズカット機能



再生時に、ノイズカット機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

- 1 停止/再生時にメニュー/ノイズカットボタンを2秒以上押す。
ノイズカット設定画面が表示されます。
- 2 ▲ または ▼ を押して、「強」または「弱」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。



お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

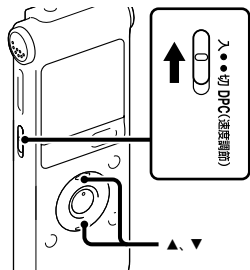
ノイズカットを解除するには
手順2で「オフ」を選択します。

メニューで設定するには
メニューの▶タブから「ノイズカット」を選び、設定します。



音楽を再生するときは、ノイズカット機能は「オフ」に設定してください。

再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)



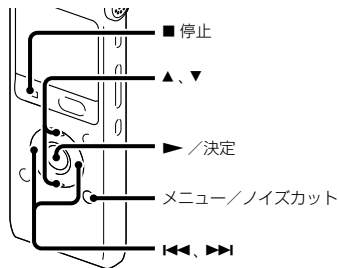
再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

- 1 DPC (速度調節)スイッチを「入」にする。
- 2 再生中に ▲ または ▼ を押して、再生速度を調節する。
0.05倍速刻みで遅くする (x0.50 ~ x1.00)
0.10倍速刻みで速くする (x1.00 ~ x2.00)
ボタンを長押しすると連続して設定できます。

お買い上げ時は、「x0.70」になっています。

通常の再生速度に戻すには
DPC (速度調節)スイッチを「切」にします。

音質を切り換える



メニューで再生する音楽によって適した効果を設定します。

- 1 停止/再生時にメニュー → ▶ タブ → 「エフェクト」を選び、▶ /決定ボタンを押して決定する。



2 ▲または▼を押して、好みの音質を選び、▶ / 決定ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ポップス 中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。

ロック 低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。

ジャズ 高域を強調した張りのある音質になります。

ベース1 低音が強調されます。

ベース2 低音が更に強調されます。

カスタム 5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。

オフ エフェクト機能を無効にします。

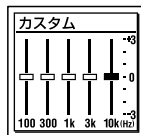
自分好みの音質に設定するには

1 手順2で「カスタム」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。

カスタム設定画面が表示されます。

2 100Hz、300Hz、1kHz、3kHzまたは10kHzの周波数帯のレベルを調節する場合は、◀◀ または ▶▶ を押してそれぞれの周波数帯へ移動し、▲または▼を押してレベルを調節する。

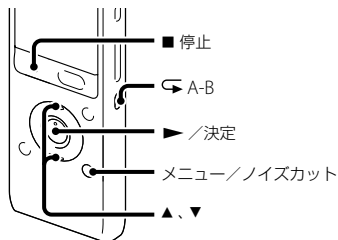
-3 ~ +3の7段階に設定できます。



3 ▶ / 決定ボタンを押す。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

再生モードを変える



メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

- 1 停止/再生時にメニュー → ▶ タブ → 「再生モード」を選び、▶ /決定ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「1」、「□」、 「ALL」、「↔ 1」、「↔ □」または 「↔ ALL」を選び、▶ /決定ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1	1ファイルを再生する。
	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
↔ 1	1ファイルをリピート再生する。
↔	フォルダ内のファイルをリピート再生する。
↔ ALL	全ファイルをリピート再生する。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

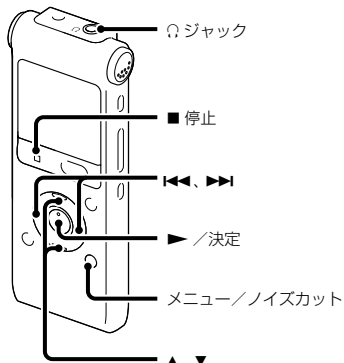
- 1 再生中に ↔ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B?」が表示されます。
- 2 もう一度 ↔ A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「↔ A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには：
▶ /決定ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには：
■ 停止ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには：
A-Bリピート再生中にもう一度 ↔ A-Bボタンを押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

より便利な再生方法



高音質で再生する

- ヘッドホンで聞く：
付属のステレオヘッドホンを○ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
別売のアクティブスピーカーを○ジャックにつないでください。

再生中に早送り／早戻しする —キュー／レビュー—

- 早送り(キュー)：
再生中に▶▶を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：
再生中に◀◀を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

🔔最後のファイルの終わりまで再生または早送り(キュー)すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に◀◀を押したままにすると、早戻しされ、離れたところから再生が始まります。

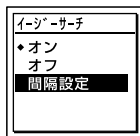
聞きたいところをすばやく探す—イージーサーチ機能

メニューの中で「イージーサーチ」を「オン」に設定しておく、再生中に、◀◀ を1回押すごとに設定した間隔戻り、▶▶ を1回押すごとに設定した間隔先に進みます。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

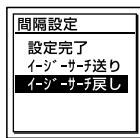
- 1 停止/再生時にメニュー→▶ タブ → 「イージーサーチ」を選び、▶ /決定ボタンを押して決定する。



- 2 現在の間隔で早戻し、早送りをするには、▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ /決定ボタンを押す。(手順5へ) 間隔を変更するには、▲または▼を押して、「間隔設定」を選び、▶ /決定ボタンを押す。



- 3 ▲または▼を押して、「イージーサーチ送り」または「イージーサーチ戻し」を選び、▶ /決定ボタンを押す。



- 4 ▲または▼を押して、早送り、早戻しの間隔を設定し、▶ /決定ボタンを押す。

💡 ヒント

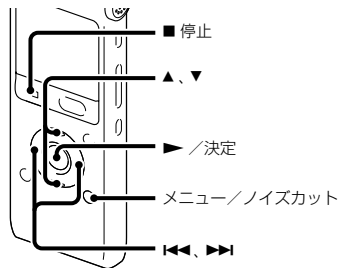
早戻し、早送り、両方の間隔を設定するには、手順3と4を繰り返します。

イージーサーチ	5秒、10秒、30秒、1分、5分、
チ送り	10分

イージーサーチ	1秒、3秒、5秒、10秒、30秒、
チ戻し	1分、5分、10分

- 5 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

カレンダーから録音した日付を選んで再生する



本機で録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。

- 1 メニュー → タブ → 「カレンダー表示」を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。



「アクセス中...」のアニメーションの後に、カレンダーが表示され、現在の日付が選択されます。

- 2 ◀◀ または ▶▶ を押して、日付を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
ファイルが存在する日付には日付に下線が表示されます。

3	2012					
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

▲ または ▼ を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンを長押しすると、連続して移動します。

- 3 ▲ または ▼ を押して、ファイルを選び、▶ / 決定ボタンを押す。

3m	7d	2012
<input checked="" type="checkbox"/>	120307	001
<input type="checkbox"/>	120307	002
<input type="checkbox"/>	120307	003
<input type="checkbox"/>	120307	004
<input type="checkbox"/>	120307	005

確認画面が表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して、「決定」を選び、
▶ / 決定ボタンを押す。
ファイルが再生されます。

- 5 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

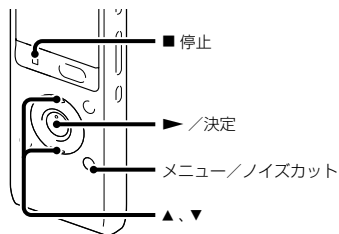
途中でカレンダーから録音した日付を 選んで再生するのをやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

■ ご注意

- カレンダーから検索してファイルを再生するには、あらかじめ本機の時計を合わせる必要があります(17ページ)。
- ファイルの存在しない日付を選択して決定した場合は、「ファイルがありません」が表示されます。ファイルが存在する日付を選択してください。
- カレンダーから検索して再生できるのは、本機で録音したファイルが入っている録音可能フォルダのみです。フォルダ構成について詳しくは「フォルダとファイルの構成」(67ページ)をご覧ください。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生



あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。

特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。1ファイルに対し、1件のアラームが設定できます。

- 1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

- 2 アラーム設定をする。

- ① 停止時にメニュー→▶ タブ→「アラーム」を選び、→ 決定ボタンを押して決定する。



- ② ▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ /決定ボタンを押す。

- 3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

- ① ▲または▼を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、▶ /決定ボタンを押す。

- ② 「日時」を選んだ場合：
「時計を合わせる」(17ページ)に従って年月日、時刻を設定します。


曜日や「毎日」を選んだ場合：

▲または▼を押して「時」を選び、▶
／決定ボタンを押し、同じように▲ま
たは▼を押して「分」を選び、▶／決
定ボタンを押します。

- 4 ▲または▼を押してお好みのアラ
ームパターンを選び、▶／決定ボタ
ンを押す。



「実行中...」の表示が出ます。

- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモー
ドを終了する。
メニューを終了すると「」が表示されて、
選んだファイルにアラームが設定されま
す。

設定内容を変更するには

アラーム再生したいファイルを表示し、2～
5の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

手順2「アラーム設定をする」の手順②で「オ
フ」を選び、▶／決定ボタンを押して決定
します。アラームが解除されます。表示窓の
アラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

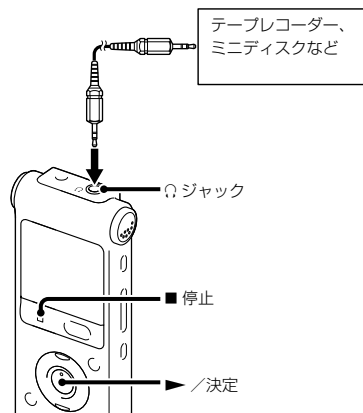
自動的に電源が入り、「ALARM」が表示され
て、アラーム再生が始まります。
再生が終わると、自動的に停止し、アラーム再
生したファイルの頭に戻ります。

アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量－/+以外のボタンを
押します。ホールド中は、どのボタンを押し
ても止められます。

接続して再生する

本機の音声を他の機器で録音する



他の機器で本機の音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の \odot ジャックと他の機器の外部入力端子を、別売のソニー製オーディオコード*を使ってつなぐ。

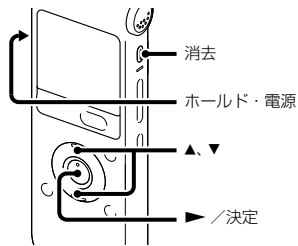
2 本機の \blacktriangleright / 決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。本機のファイルが他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の \blacksquare 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

*お使いになれるオーディオコード(別売)
ラインインを使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	本機側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ (抵抗なし)	ミニプラグ (モノラル) (抵抗なし)
RK-G136	ステレオミニプラグ (抵抗なし)	ステレオミニプラグ (抵抗なし)

ファイルを消去する

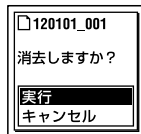


❏ ご注意

一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。

- 1 ホールド・電源スイッチを「電源」の位置にスライドして電源を入れる(16ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(15ページ)。停止画面が表示されます。
- 2 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ(19ページ)。
- 3 消去ボタンを押す。
「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 4 ▲または▼を押して、「実行」を選ぶ。



- 5 ▶ /決定ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

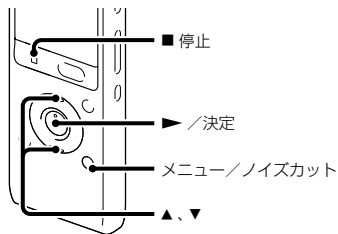
途中で消去をやめるには


手順4で「キャンセル」を選び、▶ /決定ボタンを押します。

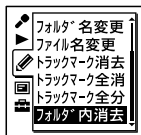
ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割(50ページ)で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順3から手順5の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する



- 1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ。
- 2 メニュー →  タブ → 「フォルダ内消去」を選び、► / 決定ボタンを押して決定する。



「フォルダ内のファイルを全て消去しますか?」と表示されます。

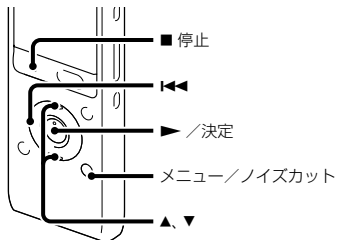
- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► / 決定ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

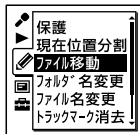
手順3で「キャンセル」を選び、► / 決定ボタンを押します。

フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する

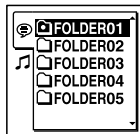


- 1 移動させたいファイルを選ぶ。
- 2 停止中にメニュー → タブ → 「ファイル移動」を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。



- 3 ◀◀ を押した後、▲ または ▼ を押して タブ または タブ を選び、▶ / 決定ボタンを押す。

- 4 ▲ または ▼ を押して、移動先のフォルダを選び、▶ / 決定ボタンを押す。



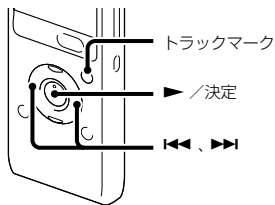
「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける



再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

録音中、再生中、録音一時停止中、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

▶ (トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。

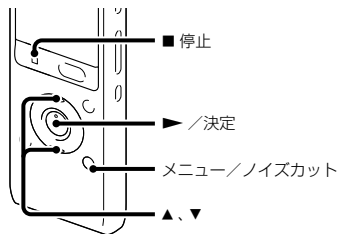


トラックマークを付けた位置を探して聞くには

停止中に ◀◀ または ▶▶ を押します。

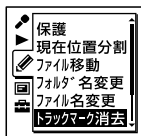
▶ (トラックマーク)表示が1回点滅したら、▶ / 決定ボタンを押します。

トラックマークを消去する



1 消去したいトラックマーク位置の後に停止する。

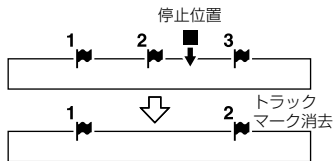
2 メニュー → タブ → 「トラックマーク消去」を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。



「トラックマークを消去しますか?」と表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、
▶ /決定ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、
設定したトラックマークは消去されます。



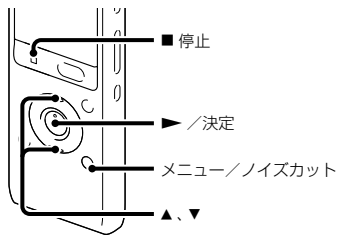
停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやるには

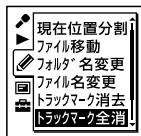
手順3で「キャンセル」を選び、▶ /決定ボタンを押します。

すべてのトラックマークを消去する



- 1 トラックマークを消去したいファイル
を選ぶ。

- 2 メニュー → タブ → 「トラックマーク全消去」を選び、▶ /決定ボタンを押して決定する。



「トラックマークを全て消去しますか?」
と表示されます。

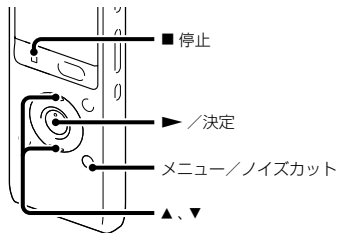
- 3** ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、
▶ / 決定ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、
すべてのトラックマークが一度に消去さ
れます。
- 4** ■ 停止ボタンを押して、メニューモー
ドを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ / 決定ボ
タンを押します。

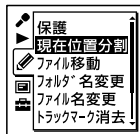
ファイルを分割する

現在位置で分割する



停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておく、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

- 1 分割したい位置で停止する。
- 2 メニュー → タブ → 「現在位置分割」を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。



「分割しますか?」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ / 決定ボタンを押す。
「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

ファイル1	ファイル2	ファイル3	
	▲ ↓ ファイル分割		
ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

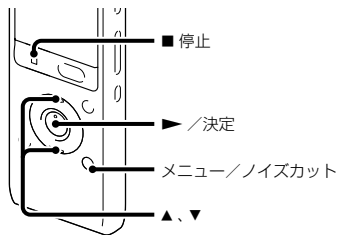
分割したファイル名の末尾に連番(「_1」、「_2」)が付く。

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

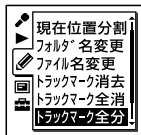
途中で分割をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ / 決定ボタンを押します。

すべてのトラックマーク位置で分割する

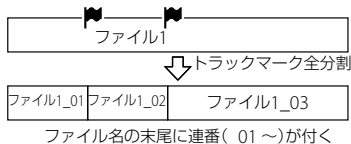


- 1 分割したいファイルを選ぶ。
- 2 停止時にメニュー → タブ → 「トラックマーク全分割」を選び、▶ /決定ボタンを押して決定する。



「全てのトラックマークで分割しますか?」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ /決定ボタンを押す。
「分割中...」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番(_01 ~)が振られます。



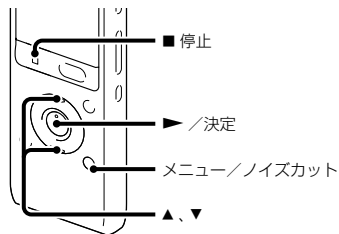
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ /決定ボタンを押します。

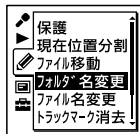
名前を変更する

フォルダの名前を変更する

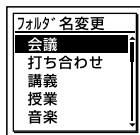


本機で録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更することができます。
変更するフォルダ名は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 フォルダリストの タブから、名前を変更したいフォルダを選ぶ。
- 2 停止時に、メニュー → タブ → 「フォルダ名変更」を選び、▶ / 決定ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼を押して、お好みのフォルダ名を選び、▶ / 決定ボタンを押す。



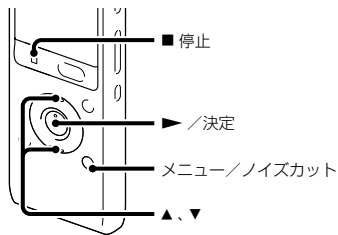
「実行中...」が表示され、フォルダ名が変更されます。

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

💡 ヒント

- 同じフォルダ名を選んだときは、フォルダ名の末尾に2～10の数字が付きます。
- テンプレートから「FOLDER」を選んだときは、フォルダ名の末尾には常に01～10の数字が付きます。

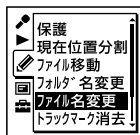
ファイル名を変更する



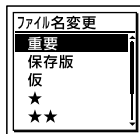
録音可能エリアの タブ内のファイルに対して、ファイル名の先頭に文字を追加することができます。

追加する文字は、テンプレートから選ぶことができます。

- 1 タブのフォルダ内で、名前を変更したいファイルを選ぶ。
- 2 停止時に、メニュー → タブ → 「ファイル名変更」を選び、 決定ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼を押して、ファイル名の先頭に追加したい文字を選び、 決定ボタンを押す。

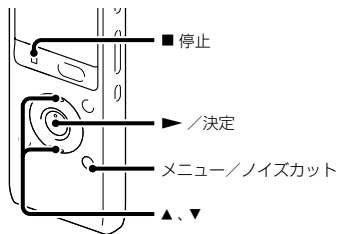



「実行中...」が表示され、選択した文字または記号と「_」が、ファイル名の先頭に追加されます。





例(121215_001.mp3 に「A」を追加した場合) : A_121215_001.mp3

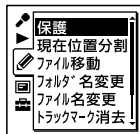
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ファイルを保護する





大事なファイルを間違えて消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、 (保護) マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1  タブ、 タブの中から、保護したいファイルを表示する。
- 2 停止時にメニュー →  タブ → 「保護」を選び、 / 決定ボタンを押して決定する。



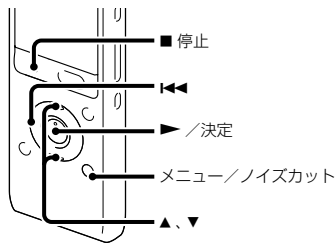
「保護に設定しますか？」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して、「実行」を選び、 / 決定ボタンを押す。
ファイルが保護されます。保護されたファイルには  (保護) マークが表示されます。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

保護を解除するには

保護設定されたファイルを選び、手順2から手順4を実行します。ただし、手順2では「保護を解除しますか？」と表示されます。

メニューの使いかた



- 1 メニュー/ノイズカットボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



- 2 ◀◀ を押した後、▲または▼を押して、◆、▶、✎、📷、📺 タブのいずれかを選び、▶/決定ボタンを押す。
- 3 ▲または▼を押して、設定したい項目を選び、▶/決定ボタンを押す。

- 4 ▲または▼を押して設定し、▶/決定ボタンを押す。

- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

❗ ご注意

操作しない状態が60秒以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に◀◀を押します。

メニューモードを中止するには




■ 停止ボタンまたはメニュー/ノイズカットボタンを押します。



メニュー一覧



タブ	メニュー	動作モード(○：設定可能 -：設定不可)		
		停止中	再生中	録音中
🎧 (録音)	シーンセレクト	○	-	-
	シーン編集	○	-	-
	録音モード	○	-	-
	マイク感度	○	-	○
	LCF(Low Cut)	○	-	○
	VOR	○	-	○
	シンクロ録音	○	-	-
	外部入力選択	○	-	-
▶ (再生)	ノイズカット	○	○	-
	エフェクト	○	○	-
	イージーサーチ	○	○	-
	再生モード	○	○	-
	アラーム	○	-	-
✎ (編集)	保護	○	-	-
	現在位置分割	○	-	-
	ファイル移動	○	-	-
	フォルダ名変更	○	-	-
	ファイル名変更	○	-	-
	トラックマーク消去	○	-	-
	トラックマーク全消去	○	-	-
	トラックマーク全分割	○	-	-
	フォルダ内消去	○	-	-

タブ	メニュー	動作モード(○：設定可能－：設定不可)		
		停止中	再生中	録音中
📅 (表示)	カレンダー表示	○	－	－
	表示切り換え	○	○	○
	ランプ	○	－	－
	バックライト	○	－	－
⚙️ (本体設定)	時計設定	○	－	－
	時刻表示形式	○	－	－
	操作音	○	－	－
	オートパワーオフ	○	－	－
	メモリー初期化	○	－	－
	本体情報	○	－	－


タブ	メニュー	設定項目(*:初期設定)	参照 ページ
🎙️ (録音)	シーンセレクト	録音状況に合わせて、🗣️(会議)、🗣️(ボイスメモ)、🎧(インタビュー)、🗣️(おけいこ)、🎧(オーディオ入力)、🗣️(Myシーン)からシーンを選ぶことにより、録音に必要な項目を一括しておすすめの設定に切り換えることができます。	24
	シーン編集	<p>あらかじめ設定されているシーンセレクトのいろいろな録音設定メニュー項目を、お好みに編集します。</p> <p>編集： 選択したシーンで設定されている設定値から変更します。</p> <p>現在の設定値から編集： あらかじめメニューで設定されている設定値から変更します。</p> <p>初期設定に戻す： お買い上げ時の設定値に変更します。</p> <p>実行： お買い上げ時の設定値に変更して処理を完了します。</p> <p>キャンセル： 実行せずに処理を終了します。</p>	25
		<p>👉 ヒント</p> <p>編集できるメニュー項目は「録音モード」、「マイク感度」(59ページ)、「LCF(Low Cut)」(59ページ)、「VOR」(27ページ)、「シンクロ録音」(29ページ)、「外部入力選択」(28、30ページ)です。「編集完了」を選択すると、処理を完了します。</p>	
	録音モード	<p>音質などを設定します。</p> <p>MP3 192kbps*： ステレオ標準モード</p> <p>MP3 128kbps： ステレオ長時間モード</p> <p>MP3 48kbps(MONO)： モノラル標準モード</p> <p>MP3 8kbps(MONO)： モノラル長時間モード</p>	-



タブ	メニュー	設定項目(*: 初期設定)	参照 ページ
🎤 (録音)	マイク感度	<p>マイク感度を設定します。</p> <p>高 : 広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。</p> <p>中 *: 会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。</p> <p>低 : 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。</p>	-
	LCF(Low Cut)	<p>LCF (Low Cut Filter)機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。</p> <p>オン: LCF機能を有効にします。</p> <p>オフ*: LCF機能を無効にします。</p>	-
	VOR	<p>VOR (Voice Operated Recording)機能を設定します。</p> <p>オン: ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。●録音/一時停止ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。</p> <p>オフ*: VOR機能は動きません。</p>	27
	シンク口録音	<p>2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を検知したところから新しいファイルとして録音します。</p> <p>オン: シンク口録音機能を有効にします。</p> <p>オフ*: シンク口録音機能を無効にします。</p>	29


タブ	メニュー	設定項目(*: 初期設定)	参照 ページ
 (録音)	外部入力選択	マイクジャックから録音する外部入力を選択します。 MIC IN*: 外部マイクをつないだときに選びます。 Audio IN: オーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。	28, 30
 (再生)	ノイズカット	ノイズカットの効果を調節します。 強: ノイズカットを強くします。 弱: ノイズカットを弱くします。「強」にして音声が聞き取りにくいときに選びます。 オフ*: ノイズカット機能を無効にします。 ■ご注意 内蔵スピーカーで再生しているときは、ノイズカット機能は無効になります。	33
	エフェクト	再生する音楽によって適した効果を設定します。 ポップス: 中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。 ロック: 低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。 ジャズ: 高域を強調した張りのある音質になります。 ベース1: 低音が強調されます。 ベース2: 低音が更に強調されます。 カスタム: 100Hz、300Hz、1kHz、3kHz、または10kHzの周波数帯のサウンドレベルを-3 ~ +3の7段階から設定できます。 オフ*: エフェクト機能を無効にします。 ■ご注意 内蔵スピーカーで再生しているとき、ノイズカット機能が有効に設定されているとき(33ページ)は、エフェクト機能は動きません。	34

タブ	メニュー	設定項目(*: 初期設定)	参照 ページ
▶ (再生)	イージーサーチ	<p>イージーサーチを設定します。</p> <p>オン: 再生中、▶▶を押すと、設定した間隔進み、◀◀を押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。</p> <p>オフ*: イージーサーチ機能を無効にします。▶▶または◀◀を押すと、ファイルを早送り/早戻しします。</p> <p>間隔設定: イージーサーチ送り、戻しの間隔を設定します。 設定完了: イージーサーチ送り、戻しの設定を有効にします。</p> <p>イージーサーチ送り: ▶▶を押したときに進む間隔を、5秒、10秒*、30秒、1分、5分、10分から選びます。</p> <p>イージーサーチ戻し: ◀◀を押したときに戻る間隔を、1秒、3秒*、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。</p>	38
	再生モード	<p>再生モードを設定します。</p> <p>1: 1ファイルを再生します。</p> <p>*: フォルダ内のファイルを連続再生します。</p> <p>ALL: 全ファイルを連続再生します。</p> <p>↶1: 1ファイルをリピート再生します。</p> <p>↶: フォルダ内のファイルをリピート再生します。</p> <p>↶ALL: 全ファイルをリピート再生します。</p>	36

タブ	メニュー	設定項目(* : 初期設定)	参照 ページ
▶ (再生)	アラーム	アラーム再生を設定します。 オン： アラーム機能を有効にします。 再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻、および以下のアラームパターンを設定します。 ビープ&再生： ビープ音の後に選んだファイルを再生します。 ビープ： ビープ音のみを鳴らします。 再生： 選んだファイルのみを再生します。 オフ*： アラーム機能を無効にします。	41
✎ (編集)	保護	ファイルを保護して、消去や分割、移動ができないようにします。 実行： ファイルを保護します。既に保護されているファイルを選んで実行した場合は、保護を解除します。 キャンセル： 保護あるいは保護解除を実行しません。	54
	現在位置分割	ファイルをふたつに分けます。 実行： 分割を実行します。 キャンセル： 分割を実行しません。	50
	ファイル移動	選んだファイルを選んだフォルダに移動します。 移動する前に、移動したいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	46
	フォルダ名変更	テンプレートを選択して、フォルダの名前を変更します。	52
	ファイル名変更	テンプレートを選択して、ファイル名の先頭に付ける文字列を選択します。	53

タブ	メニュー	設定項目(*:初期設定)	参照 ページ
✎ (編集)	トラックマーク消去	現在位置のトラックマークを消去します。 実行： トラックマーク消去を実行します。 キャンセル： トラックマーク消去を実行しません。	47
	トラックマーク全消去	選んだファイルのすべてのトラックマークを消去します。 実行： トラックマーク消去を実行します。 キャンセル： トラックマーク消去を実行しません。	48
	トラックマーク全分割	選んだファイルのすべてのトラックマークの位置で分割 します。 実行： トラックマーク分割を実行します。 キャンセル： トラックマーク分割を実行しません。	51
	フォルダ内消去	選んだフォルダの中身をすべて消去します。 消去する前に、  (フォルダ) を押して消去したいフォル ダに切り換えてから、メニューモードにしてください。 実行： フォルダ内消去を実行します。 キャンセル： フォルダ内消去を実行しません。	45
📅 (表示)	カレンダー表示	画面表示をカレンダーに切り換え、本機で録音したファイ ルを、カレンダーから検索して再生できます。 決定： 選択したファイルを再生します。 戻る： 選択したファイルを再生せず、前の画面に戻りま す。	39
	表示切り換え	表示モードを設定します。 経過時間*： 1ファイルの経過時間 残り時間： 停止/再生中は、1ファイルの残り時間、録音 中は、録音可能時間 録音日付： 録音した日付 録音時刻： 録音した時刻	—

タブ	メニュー	設定項目(*: 初期設定)	参照 ページ
 (表示)	ランプ	録／再ランプの点灯、消灯を設定します。 オン*：動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。 オフ：動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。 ■ ご注意 パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。	-
	バックライト	バックライトの点灯、消灯を設定します。 オン*：操作をするとバックライトが10秒間点灯します。 オフ：バックライトが点灯しません。	-
 (本体設定)	時計設定	自動(対応ソフトと同期)*：本機をパソコンにつないで、Sound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。 手動：「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。	17
	時刻表示形式	時刻表示形式を設定します。 12時間：12：00AM=真夜中、12：00PM=正午 24時間*：0：00=真夜中、12：00=正午	-
	操作音	確認音を設定します。 オン*：操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 ■ ご注意 「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。	-

タブ	メニュー	設定項目(* : 初期設定)	参照 ページ
	オートパワーオフ (本体設定)	操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。 5分： 約5分後に電源が切れます。 10分*： 約10分後に電源が切れます。 30分： 約30分後に電源が切れます。 60分： 約60分後に電源が切れます。 オフ： 電源は自動的に切れません。	-
	メモリー初期化	内蔵メモリーを初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。 実行： 「初期化中...」のアニメーションが表示され、初期化します。 キャンセル： 初期化しません。	-
		■ ご注意	
		メモリーを初期化すると保護したファイルを含むすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	
	本体情報	本体の型名とソフトウェアのバージョン番号を表示します。	

パソコンにつないで使う

本機とパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する(71ページ)

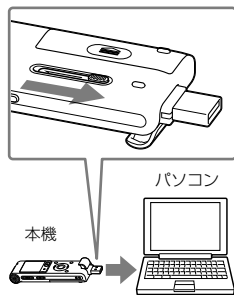
音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する(72ページ)

USBメモリーとして使う(74ページ)
パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、77ページをご覧ください。

本機をパソコンに接続する



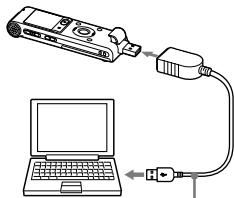
本機とパソコンでファイルをやり取りするためには、本機をパソコンに接続します。

- 1 本機裏面のスライド式USB端子用つまみを矢印の方向にスライドして、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。
- 2 正しく認識されているかを確認する。
Windowsでは、「マイコンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「IC RECORDER」が新しく認識されているかを確認してください。

Macintoshでは、Finderに「iC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側で本機を認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

本機がパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

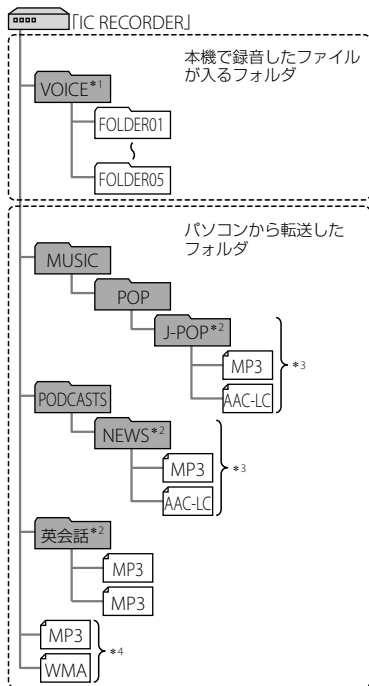


USB接続補助ケーブル

フォルダとファイルの構成

本機をパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。Windowsではエクスプローラを使って、MacintoshではFinderを使って、「iC RECORDER」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。

パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。



- *1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の📁タブには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。
- *2 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。
(図は、フォルダ名称の例です。)
- *3 音楽ファイルを認識できるのは、本機に転送したフォルダの8階層目までとなります。
- *4 音楽ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

💡 ヒント

- 本機では、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくとう便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、本機では「No Data」と表示されます。

本機で見たフォルダの構成

本機の表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- 📁：本機で録音したファイルが入るフォルダ
- 📁：パソコンから転送したフォルダ(パソコンから転送したときに表示されます。)
- 📁🎵：パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダ(パソコンから転送したときに表示されます。)

⚠️ ご注意

本機で再生できるファイルが入っていないフォルダは、本機では表示されません。

本機の📁タブに表示されるフォルダ



本機で録音したファイルが入るフォルダ(VOICEフォルダ配下のフォルダ)が表示されます。

⚠️ ご注意

VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の📁タブには表示されません。

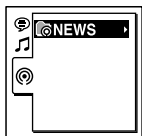
本機の♪タブに表示されるフォルダ



パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ(階層が深い場合は、すべて並列に表示されます。)
- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ(単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。)

本機の🎧タブに表示されるフォルダ



パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。

本機をパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

- 1 本機の録／再ランプが消えていることを確認する。

- 2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。



→[IC RECORDERの取り外し]

(Windows 7)または、[USB大容量記憶装置 - ドライブを安全に取り外します] (Windows XP、Windows Vista)を左クリックしてください。

アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

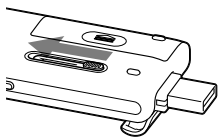
お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

Macintoshの場合：

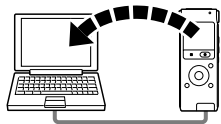
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取りはずしアイコンをクリックしてください。

パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機をパソコンのUSBポートからはずし、本機のスライド式USB端子用つまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。



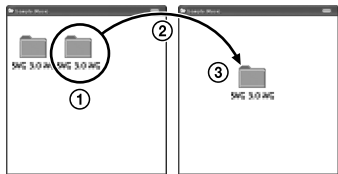
ファイルの本機からパソコンにコピーして保存する



本機にあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

- 1 本機をパソコンに接続する(66ページ)。
- 2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。
「IC RECORDER」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

👁️ ファイルやフォルダをコピーする
(ドラッグアンドドロップ)



ICレコーダー

パソコン

- ①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
- ②保存先まで移動(ドラッグ)して、
- ③はなす(ドロップ)

- 3 本機をパソコンから取りはずす(69ページ)。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する



パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)*）を本機にコピーして再生することができます。

* 本機で再生可能なファイル形式については、「本機の仕様」(78ページ)をご覧ください。














パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする

- 1 本機をパソコンに接続する(66ページ)。
- 2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。
Windowsではエクスプローラを使って、MacintoshではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」にドラッグアンドドロップします。

本機では最大400個のフォルダまで認識できません。1個のフォルダには最大199のファイルを入れることができます。また、フォルダとファイルを合計して最大4,095まで認識できます。

- 3 本機をパソコンから取りはずす(69ページ)。

コピーした音楽ファイルを本機で再生する

- 1  (フォルダ) ボタンを押す。
- 2  を押した後、 または  を押して  タブを選び、 / 決定ボタンを押す。
- 3  または  を押して、音楽ファイルを入れたフォルダ () を選び、 / 決定ボタンを押す。
フォルダ内のファイル選択画面を表示するには、 または  を押してフォルダを選び、 を押します。

- 4 再生したい音楽ファイルを選ぶ。
 ファイル選択画面が表示されているときは、▲または▼を押して、ファイルを選び、▶ / 決定ボタンを押します。
 停止画面が表示されているときは、◀◀ または ▶▶を押してファイルを切り換えることができます。
- 5 ▶ / 決定ボタンを押して再生を始める。
- 6 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

音楽再生時の画面表示について

▲ または ▼ を押して再生中の音楽ファイルの情報を確認することができます。



- 📁 : フォルダ名を表示
- 📄 : ファイル名を表示
- 👤 : アーティスト名を表示
- 🎵 : タイトル名を表示

USBメモリーとして利用する

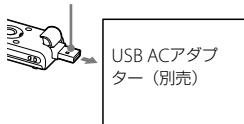
本機とパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にある本機で録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルを本機に一時保存できます。

USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。

OSの条件については「必要なシステム構成」(77ページ)をご覧ください。

USB ACアダプターにつないで使う

本機USB端子



USB ACアダプター (別売)を使って、本機と家庭用電源(コンセント)をつないで本機を使用することができます。長時間録音をする場合などに便利です。

- 1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 本機のスライド式USB端子用つまみをスライドし、USB ACアダプターにつなぐ。

本機を取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、■ 停止ボタンを押して動作を停止する。
- 2 録／再ランプが消えていることを確認する。
- 3 本機をUSB ACアダプターから取りはずし、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
 - 風呂場など湿気が多いところ。
 - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - 汗をかく状況での使用。
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じる場合がありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人

体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

主な仕様

必要なシステム構成

本機をパソコンに接続して使用する場合は、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Home Basic
- Windows 7 Starter
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2以降
- Windows Vista Business Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3以降
- Windows XP Professional Service Pack 3以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3以降

- Mac OS X (v10.3.9～v10.7)
標準インストール(日本語版のみ)

❏ ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、裏面に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピュータまたはMacintosh

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート

❏ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

本機の仕様

容量(ユーザー使用可能領域)		
2 GB (約1.80 GB = 1,932,735,283 Byte) メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。		
最大フォルダ数		
400フォルダ		
最大ファイル数(1フォルダ内)		
199ファイル		
最大ファイル数		
4,074ファイル(フォルダ数が21の場合)		
周波数範囲		
MP3 192kbps	50 Hz ~ 20,000 Hz	
MP3 128kbps	50 Hz ~ 16,000 Hz	
MP3 48kbps (MONO)	50 Hz ~ 14,000 Hz	
MP3 8kbps (MONO)	60 Hz ~ 3,400 Hz	
対応ファイルフォーマット		
MP3*1	ビットレート	32 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート(VBR) 対応
	サンプリング 周波数	16/22.05/24/32/44.1/ 48 kHz
	拡張子	.mp3
*1 これに加えて本機の名録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。		

WMA*2	ビットレート	32 kbps ~ 192 kbps、 可変ビットレート(VBR) 対応
	サンプリング 周波数	44.1 kHz
	拡張子	.wma
*2 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR (Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。		
AAC-LC*3	ビットレート	16 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート(VBR) 対応
	サンプリング 周波数	11.025/12/16/22.05/ 24/32/44.1/48 kHz
	拡張子	.m4a
*3 著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのAACエンコーダーに対応しているわけではありません。		
スピーカー		
直径16 mm		
入・出力端子		
外部入力(ステレオミニジャック) プラグインパワー対応 最小入力レベル：0.9 mV		
ヘッドホン(ステレオミニジャック) 推奨負荷インピーダンス：16 Ω		
USB端子(USB Type-A端子) High-Speed USB対応		

再生スピード調節(DPC)	
2倍速～0.50倍速	MP3/WMA/AAC-LC
実用最大出力	
90 mW	
電源	
DC1.5 V、単4形アルカリ乾電池（付属）1本	
DC1.2 V、単4形充電式ニッケル水素電池（別売）1本	
動作温度	
5℃～35℃	
最大外形寸法(最大突起部含まず)	
約36.6 mm×102.0 mm×14.6 mm (幅／高さ／奥行き)(JEITA ^{*4})	
質量	
約56 g (単4形アルカリ乾電池1本含む) (JEITA ^{*4})	
^{*4} 電子情報技術産業協会(JEITA)規格。	
付属品	
7ページ参照	
別売アクセサリ	
エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3	
オーディオコード RK-G136、RK-G139	
USB ACアダプター AC-UD20	
充電式ニッケル水素電池単4形 NH-AAA-2BKB	
ニッケル水素電池専用充電器 BCG34HS5	
ニッケル水素電池専用充電器・充電電池セット BCG34HS24K	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間^{*5*}^{*6}

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード		録音シーン ^{*7}	内蔵メモリー
MP3 192kbps	ステレオ標準モード		22時間20分
MP3 128kbps	ステレオ長時間モード		33時間30分
MP3 48kbps (MONO)	モノラル標準モード		89時間25分
MP3 8kbps (MONO)	モノラル長時間モード		536時間

^{*5} 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間(81ページ)をご確認ください。

^{*6} 表記の最大録音時間は目安です。

^{*7} お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数^{*8}

ビットレート	再生時間	曲数
48 kbps	89時間25分	1,341ファイル
128 kbps	33時間30分	502ファイル
256 kbps	16時間45分	251ファイル

^{*8} パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

乾電池の持続時間*1（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時*2	ヘッドホン再生時
MP3 192kbps	約29時間	約22時間	約61時間
MP3 128kbps	約31時間	約22時間	約61時間
MP3 48kbps(MONO)	約33時間	約22時間	約61時間
MP3 8kbps(MONO)	約42時間	約22時間	約61時間
音楽ファイル (128kbps/44.1kHz)	—	約22時間	約61時間

充電式電池の持続時間*1（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時*2	ヘッドホン再生時
MP3 192kbps	約24時間	約15時間	約39時間
MP3 128kbps	約24時間	約15時間	約39時間
MP3 48kbps(MONO)	約25時間	約15時間	約39時間
MP3 8kbps(MONO)	約30時間	約15時間	約39時間
音楽ファイル (128kbps/44.1kHz)	—	約15時間	約39時間

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

*2 音量レベルを13に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

故障かな？と思ったら



修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧ください。ソニーの相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、82ページをご参照願います。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは(本機)

分類	症状	原因/処置
ノイズ	雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 録音したとき、本機に手などがあたってたり、衣服とこすれたりすると雑音が雑音されることがあります。 → 付属の「クイックスタートガイド」を参照して、状況に応じた適切な録音方法をお使いください。 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。 外部マイク(別売)で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 ヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。
電源	電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している。 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない(16ページ)。 電源がオフになっている。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります(16ページ)。 ホールドがオンになっている。 → ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドする(15ページ)。
	電源が切れない。	<ul style="list-style-type: none"> 停止中に、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます(16ページ)。

分類	症状	原因/処置
電源	電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(65ページ)。
	電池の持続時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> 81ページの電池の持続時間は、音量レベルを13で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る(16ページ)か、電池をはずしておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定(65ページ)時間を短くしておくことと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 マンガン電池を使用しています。本機には、マンガン電池はお使いになれません。
動作	正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池を取り出して、もう一度入れ直す。 パソコンでメモリーを初期化している。 → 本機で初期化を行ってください(65ページ)。
	録/再ランブが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「ランブ」が「オフ」に設定されている。 → 「オン」に切り換える(64ページ)。
録音	録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> 録音残り時間が不足している場合は録音できません。 再生専用エリアの  タブ、 タブで管理されているフォルダには録音できません。
	録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にする(27ページ)。
	VOR機能が動かない。	<ul style="list-style-type: none"> シンクロ録音では、はVOR機能は働きません(27ページ)。
	他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。



分類	症状	原因／処置
再生	再生音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> 本機に内蔵しているスピーカーはモニター用のため、再生音が小さくなっています。 → 付属のヘッドホンを使用してください。
	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンをつないでいる(37ページ)。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。
	「エフェクト」で音質が変化しない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵スピーカーで再生している場合はエフェクト設定は無効になります。 ノイズカット機能が有効に設定されているときは、エフェクト設定は働きません。
	再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> DPC(速度調節)スイッチが「入」になっているため、▲または▼で調節した再生スピードで再生されている。 → DPC(速度調節)スイッチを「切」にすると、通常で再生されます。または、▲または▼で再生スピードを調節してください(34ページ)。
	音楽ファイルの再生音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none"> ノイズカット機能が有効に設定されている。 → 音楽ファイルを再生するときは、ノイズカット機能は無効に設定してください。
編集	ファイルを分割できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーに一定の空き容量がない。 選んだフォルダ(📁)に199のファイルが入っている。 → 不要なファイルを消去する(44ページ)か、パソコンなどに保存してから、メモリーの内容を消去する。 システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 本機で録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。
	ファイルを移動できない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストは移動できません。 保護されているファイルは移動できません。

分類	症状	原因／処置
時計	時計表示が「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていない(17ページ)。
	録音日時表示が「--y--m--d」または「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
表示	メニュー表示の項目が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生、録音中は、表示されないメニューがあります(56ページ)。
	本機に表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	<ul style="list-style-type: none"> 本機ではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、パソコン上での残量表示と異なる場合があります。
ファイル	「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーがいっぱいになっている。 → 不要なファイルを消去する(44ページ)か、パソコンなどに保存してから、メモリーの内容を消去する。
	「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> 選んだフォルダ(□)に199のファイルが入っているか、または、全体で4,074のファイル(フォルダが21個のとき)が入っているため、録音やファイル移動ができない。 → 不要なファイルを消去する(44ページ)か、パソコンなどに保存してから、メモリーの内容を消去する。
パソコン	変更したメニュー設定が反映されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 設定変更直後に電池が抜かれた場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> WindowsのエクスプローラまたはMacintoshのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
	ファイルコピーに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。

分類	症状	原因/処置
パソコン	パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、 ファイルが転送できない。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 付属のUSB接続補助ケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、本機を直接、または付属のUSB接続補助ケーブルを使って接続してください。 本機が対応しているシステム構成(77ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。 お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
	本機に転送したファイルが 表示されない、または再生 されない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示できるファイルは8階層目までです。 本機で対応しているMP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。本機の仕様をご確認ください(78ページ)。
	パソコンが起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → 本機をパソコンからはずして起動してください。

メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド中 解除してください	<ul style="list-style-type: none">本機が誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(15ページ)。
電池が残りわずかです	<ul style="list-style-type: none">電池が残りわずかのため、メモリーの初期化やフォルダ内消去ができません。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池(別売)と取り換えてください。
電池残量がありません	<ul style="list-style-type: none">電池が消費しています。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池(別売)と取り換えてください。
メモリーが一杯です	<ul style="list-style-type: none">録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(44ページ)。
ファイルが一杯です	<ul style="list-style-type: none">フォルダ内のファイルの合計が、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(44ページ)。
登録が一杯です	<ul style="list-style-type: none">フォルダ名が重複しているため、フォルダ名を変更できません。他のフォルダ名に変更してください。
トラックマークが一杯です	<ul style="list-style-type: none">すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(47ページ)。
ファイルが壊れています	<ul style="list-style-type: none">選んだファイルのデータが破損しているため、再生や編集ができません。
内蔵メモリーの初期化が必要です	<ul style="list-style-type: none">パソコンで本機を初期化したためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで本機のメモリーを初期化してください(65ページ)。パソコンで初期化しないでください。
処理を継続できません	<ul style="list-style-type: none">電池を抜き差ししてみてください。必要なデータをバックアップしてからメニューで本機のメモリーを初期化してください(65ページ)。上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
時計を設定してください	<ul style="list-style-type: none">時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。

メッセージ表示	原因
ファイルがありません	<ul style="list-style-type: none"> • 選んだフォルダには1つもファイルが録音されていません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	<ul style="list-style-type: none"> • トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
ファイルが保護されています	<ul style="list-style-type: none"> • 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。本機で保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります(54ページ)。
既に設定済みです	<ul style="list-style-type: none"> • 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。
過去の日時です	<ul style="list-style-type: none"> • 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(41ページ)。
非対応のデータです	<ul style="list-style-type: none"> • 本機で対応していないファイル形式のデータです。本機が対応しているファイル形式(拡張子)は、MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくは「本機の仕様」をご覧ください(78ページ)。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	<ul style="list-style-type: none"> • 再生専用エリアの  タブ、 タブで管理されているファイルは分割やトラックマーク設定やカレンダー表示ができません。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。
新しいファイルで録音を継続します	<ul style="list-style-type: none"> • 録音中のファイルがファイルサイズの上限(1GB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
ノイズカット設定時は無効です	<ul style="list-style-type: none"> • ノイズカット機能が有効に設定されているときは、エフェクト設定よりもノイズカット機能が優先されます。ノイズカット機能を無効に設定してください(33ページ)。

メッセージ表示	原因
フォルダを切り換えます	<ul style="list-style-type: none">フォルダまたはフォルダアイコンで表示されるフォルダにファイルがひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	<ul style="list-style-type: none">フォルダ内のファイルの合計が、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください(50ページ)。
同名のファイルが存在します	<ul style="list-style-type: none">作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	<ul style="list-style-type: none">分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
故障です	<ul style="list-style-type: none">何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	• パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機に転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができません。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限(1 GB)に達していません。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• 本機で表示できない文字が使用されています。パソコンで本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解禁止



大音量で長時間つけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド(Ni-Cd)

ニッケル水素(Ni-MH)

リチウムイオン(Li-ion)

乾電池

アルカリ、マンガン



危険

充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れてない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について



Ni-MH

ニッケル水素充電電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

警告 乾電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft.

Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

索引

数字、記号、アルファベット順

AAC-LC	78
A-Bリピート	36
DPC (Digital Pitch Control)	34
MP3	78
USB ACアダプター	75
USBメモリー	74
VOR (Voice Operated Recording)	27, 56, 59
WMA	78

五十音順

あ行

アフターサービス	82
アラーム	41, 56, 62
アルカリ乾電池	16, 81
イージーサーチ	38, 56, 61
エフェクト	34, 56, 60
お手入れ	76
音楽ファイルを本機にコピー	72
音量調節	22, 31

か行

外部入力選択	28, 30, 56, 60
外部マイク	28
各部のなまえ	
表示窓	10
本体(裏面)	9
本体(表面)	8
カレンダー表示	39, 57, 63
キュー	37
現在位置分割	50, 56, 62
現在日時表示	18
困ったときは	83

さ行

再生	31, 33
再生モード	36, 56, 61
シーンセレクト	24, 56, 58
シーン編集	25, 56, 58
システム構成	77
システム上の制約	91
修理	82
仕様	77
消去	44
使用上のご注意	76
シンク口録音	29, 56, 59

た行

他の機器から録音	29
他の機器へ録音	43
タブ表示	14
タブを選ぶ	20
電源を入れる	16
電池残量表示	16
電池持続時間	81
電池を入れる	16
電話の録音	28
時計設定	17, 57, 64
トラックマーク	47
トラックマーク消去	47, 56, 63
トラックマーク全消去	48, 56, 63
トラックマーク全分割	51, 56, 63

な行

内蔵マイク	21
内蔵メモリー	67
ノイズ	76
ノイズカット	33, 56, 60

は行

パソコンにつなぐ	66
パソコンを活用する	66
表示窓	10
ファイル移動	46, 56, 62
ファイル消去	44
ファイル名変更	53, 56, 62
ファイルをパソコンにコピー	71
フォルダ	14, 19, 46, 67
フォルダ内消去	45, 56, 63
フォルダ、ファイルを選ぶ	19
フォルダ名変更	52, 56, 62
編集	46
ホールド	13, 15
ホールド・電源スイッチ	15, 16
保護	54, 56, 62
保証書	82

ま行

メッセージ表示	88
メニュー	
LCF(Low Cut)	56, 59
VOR	56, 59
アラーム	56, 62
イージーサーチ	56, 61
一覧	56
エフェクト	56, 60

オートパワーオフ	57, 65
外部入力選択	56, 60
カレンダー表示	57, 63
現在位置分割	56, 62
再生モード	56, 61
シーンセレクト	56, 58
シーン編集	56, 58
シンクロ録音	56, 59
操作音	57, 64
使いかた	55
時計設定	57, 64
時計表示形式	57, 64
トラックマーク消去	56, 63
トラックマーク全消去	56, 63
トラックマーク全分割	56, 63
ノイズカット	56, 60
バックライト	57, 64
表示切り換え	57, 63
ファイル移動	56, 62
ファイル名変更	56, 62
フォルダ内消去	56, 63
フォルダ名変更	56, 62
保護	56, 62
本体情報	57, 65
マイク感度	56, 59
メモリー初期化	57, 65
ランプ	57, 64
録音モード	56, 58

5行

レビュー	23, 37
録音	21, 24
録音一時停止	23
録音時間	80
録音モニター	22
録音レベルガイド	22

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには→ IC レコーダー・カスタマーサポートへ
(<http://www.sony.co.jp/ic-rec-support>)
IC レコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- 電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX 番号）
 - 本機の商品カテゴリーは [IC レコーダー] です。
 - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
 - ◆セット本体に関するご質問時：
 - 型名：ICD-UJ502
 - シリアルナンバー：電池ボックス内
 - ご相談内容：できるだけ詳しく
 - お買い上げ年月日
 - ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

**使い方
相談窓口**

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2511

**修理
相談窓口**

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初の
ガイダンスが流れている間に
「303」+「#」を押してください。
直接、担当窓口へおつながります。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

